



西眼科だより

第12巻1号

(季刊誌)

2010年1月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉<http://www.nishi-ganka.or.jp> 〈e-mail〉office@nishi-ganka.or.jp



2010年 西眼科病院の展望

にし おきひろ
院長 西 起史

“あけましておめでとうございます” 2010年の年頭に当たり職員一同を代表して一言ご挨拶申し上げます。

新年に当たり、私達は先ず病院の理念の再確認から出発いたします。

- ★ 患者さんの立場に立った、患者さんの満足する医療。
- ★ エビデンスに基づく最新の医療の提供。
- ★ 病院の機能が100%発揮できるように職員が努力する。

日頃、私達職員一同はこの病院の理念の、より高度の実現・実行を目指して努力していますが、年頭に当たってさらに努力を積み重ねて行きたいと誓いを新たにしています。

この理念を実際にどの様に実現・実行していくかは、私達に課された最重要の問題と常に認識しています。他方、病院の経営は一般的な企業とやや異なるものがあります。経済原則に従って利潤を追求することは病院にはなじみません。しかし、適正な利潤がないと新しい医療スタッフや医療器具は備える事ができません。すなわち、理念が実現できません。

実務上も理念上も、ある意味矛盾するこの概念をバランスよく融合させることは時に難しいものがあります。

20 世紀の知の巨人・最高の哲人と言われる、マネージメントの発明者ピーター・ドラッカーは現代の企業の重要な経営姿勢の一つに「顧客の視点に立った企業内制度の見直し」をあげています。これを病院に当てはめると**患者さんの視点に立った院内の医療・医事の制度・業務の見直し**と変換できるでしょう。

眼科学を含め医学の進歩はますます早くしかも高度になっています。最新の医療を取り入れ安全に施行していくにはそれを直接施行する医師だけでなく、看護師を含めスタッフ全員の、機能的で、合理的に組織化された、患者さんの視点に立ったチームワークが不可欠です。

これまでもかなり意識的に「患者さんの立場に立った医療」は行って来たつもりです。しかし今後は**患者さんの視点に立った病院内制度の見直し**を、今年を含め短・中期的な目標として明確に掲げたいと思います。それがこの日進月歩の医療の遂行と私達の理念の遂行に寄与してくれるものと確信しています。

さらに院長として病院をマネージしていく上で最も重要なことは「真摯さ」すなわち「まじめでひたむきなこと」と改めて考えています。これは私のみならず職員全員にも求められることと思います。この真摯さを忘れないように努めたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。